

2017年度友愛労働歴史館事業報告

友愛労働歴史館は年間を通し、Ⅰ 展示会・講演会活動、Ⅱ 資料の収集・管理作業、調査・研究活動、Ⅲ 情報発信・PR活動、などの事業に取り組んでいる。2017年度（2017年4月1日～2018年3月31日）は、以下の事業を行った。

Ⅰ 展示会・講演会活動について

友愛労働歴史館は主な活動の一つとして展示会（常設展・企画展）活動と、これに連動した講演会・労働講座の開催を行っている。

友愛労働歴史館の2017年1月～12月の入館者数は、1006名。これに2018年1月～3月末の入館者270名（1月110名、2月48名、3月112名）を加えると、2012年8月1日の新装オープン以来の延べ入館者数は、8209名（2018.3.31現在）となる。

1. 展示会（常設展・企画展）活動

友愛労働歴史館は展示会活動として、常設展と企画展（年2回）を開催している。常設展「日本労働運動の100年余一友愛会・総同盟（戦前）を中心とする」は、2012年8月1日の新装オープン以来、原則同一テーマで開催し、2017年1月に一部の展示をリニューアルして、今日に至っている。

企画展は年2回（上期、下期）、テーマを決めて開催している。上期の2017年1月6日から同年6月30日の間は、友愛会ゆかりの内ヶ崎作三郎の生誕140年・没後70年を記念し、企画展「内ヶ崎作三郎—教育者・牧師・政治家の生涯—」（2017.01.06～06.30）を開催した。

下期は7月6日から友愛会ゆかりのキリスト教伝道者・社会運動家の賀川豊彦を取り上げ、企画展「賀川豊彦と友愛会・総同盟」（2017.7.6～12.22）をスタートさせ、12月22日まで開催した。

2018年1月5日からは片山哲（元首相、弁護士、クリスチャン）の歿後40年、片山内閣崩壊から70年を記念し、企画展「戦後民主化のリーダー 片山哲」（2018.1.5～6.29）を開催している。

<友愛労働歴史館企画展>

①「内ヶ崎作三郎」展

と き：2017年1月5日（金）～同年6月30日（金）

と ころ：友愛労働歴史館・展示室

テ マ：「内ヶ崎作三郎—教育者・牧師・政治家の生涯—」

内 容：第1部「その生涯—内ヶ崎作三郎」

第2部「牧師—内ヶ崎作三郎」

第3部「政治家—内ヶ崎作三郎」

②「賀川豊彦と友愛会・総同盟」展

と き：2017年7月6日（木）～同年12月22日（金）

ところ：友愛労働歴史館展示室

名 称：「賀川豊彦と友愛会・総同盟—賀川豊彦が労働運動の残したもの」

③「戦後民主化のリーダー 片山哲」展

と き：2018年1月5日（金）～2018年6月29日（金）

ところ：友愛労働歴史館・展示室

名 称：「戦後民主化のリーダー 片山哲」

内 容：第1部「片山哲の生涯」

第2部「片山内閣の誕生と崩壊」

第3部「片山内閣を支えた人々」

2. 講演会活動

企画展と連動させた講演会・労働講座を、労使関係研究協会その他の団体と共催し、もしくは単独で開催している。2017年度に以下の講演会・労働講座を開催した。

①名 称：「ユニテリアン牧師・内ヶ崎作三郎と友愛会」（労使研と共催）

と き：2017年4月3日（月）14：00～16：00

ところ：友愛労働歴史館・研修室

テーマ：「ユニテリアンの政界進出の背景を探る」

間宮悠紀雄 友愛労働歴史館事務局長

「内ヶ崎作三郎と友愛会」

芳賀 清明 労働運動史研究者

②名 称：友愛会創立記念労働講座（友愛会創立を記念する会と共催）

と き：2017年8月1日（火）10：30～11：45

ところ：友愛労働歴史館・研修室

テーマ：「賀川豊彦と友愛会」 杉浦 秀典 賀川豊彦記念松沢資料館副館長

II 資料の収集・管理作業、調査・研究活動について

友愛労働歴史館は、年間を通して資料の収集を行っている。また、必要な調査・研究活動に取り組んでいる。

1. 資料の収集・管理

2017年9月、元民社党関係者より劇作家・菊田一夫作詞「忘れるな大衆の願いを」の臨書の寄贈を受けた。額装後、菊田一夫作詞「民主社会党におくる」の額の横に展示した。10月、元電力総連関係者より全民労協その他の労働資料の寄贈を受けた。

2018年2月、故和田正氏（連合東京会長など歴任）の労働運動関連資料、また故高島順子氏（連合副事務局長など歴任）の社会運動関連資料、さらに故波多野鼎（経済学者、片山内閣の農林大臣）の写真資料などの寄贈を受けた。

友愛労働歴史館には今まで個人・団体から寄贈を受けた資料が未整理状態にあり、当館倉庫（友愛会館地下1階、同2階）に保存している。通年を通し、これらの資

料の整理作業に取り組んでいる。

2. 調査・研究活動

友愛労働歴史館は、常設委員会として「ユニテリアンと社会運動研究会」、「政治・社会運動史研究会」の2つの常設委員会を設置し、調査・研究活動を行っている。2017年度は、以下の研究会を開催した。

①「第14回政治・社会運動史研究会」

名 称：「全体主義と闘った男 河合栄治郎」（公開報告会形式で）

と き：2017年4月24日（月）14：00～16：00

講 師：湯浅 博 産経新聞論説委員

ところ：友愛労働歴史館・研修室

②「第15回政治・社会運動史研究会」（公開報告会形式で）

名 称：「社会主義インターの歴史と現在」

と き：2017年6月23日（金）14：00～16：00

講 師：佐瀬 昌盛 元防衛大学校教授

ところ：友愛労働歴史館・研修室

③「第16回政治・社会運動史研究会」

名 称：「民社党時代を語る」（共通テーマ）

と き：2017年10月26日（木）14：00～16：00

講 師：西村 章三 元民社党副委員長

ところ：友愛労働歴史館・研修室

④「第17回政治・社会運動史研究会」

名 称：「民社党時代を語る」（共通テーマ）

と き：2018年3月2日（金）15：00～16：30

講 師：重盛 親聖 元IHI労組、元呉市議、元民社党広島県連副委員長

ところ：友愛労働歴史館・研修室

III 情報発信・PR活動について

友愛労働歴史館はインターネットを利用したメールレポート「友愛労働歴史館たより」の発信、ホームページでの情報提供・PRなどに取り組んでいる。また、研究者・学生らへの相談対応、資料提供などに取り組んでいる。

1. メールレポート「友愛労働歴史館たより」の発信

メールレポート「友愛労働歴史館たより」第118号を、2017年4月17日に発信した。その後、4月27日、6月6日、7月11日、8月10日、8月3日、9月7日、9月29日、10月31日、11月27日、12月28日に発信した。2018年1月30日と3月5日に、「友愛労働歴史館たより」第128号と第129号を発信した。

また、当館はEメールを活用し、必要な情報をメールアドレス登録者に随時、発信している。2018年2月末現在のメールアドレス登録者は約1100名である。

友愛労働歴史館 E メールアドレス yuairodorekishikan@rodokaikan.org

2. 友愛労働歴史館ホームページの開設

友愛労働歴史館は情報提供用にホームページ <http://www.yuairodorekishikan.com> を開設しており、随時更新している。

3. その他

- ①友愛労働歴史館の非公式ツイッター (@yuaireshiki1912) を開設、随時更新し、情報を発信している。
- ②友愛労働歴史館の常設展チラシ、企画展チラシ、その他を活用し、紙媒体での PR 活動を行っている。
- ③当館関係者が名刺交換・アドレス交換を行い、メールアドレス登録をした人たちを対象に、当館の紹介用スライド「ようこそ友愛労働歴史館へ」、企画展解説スライド「賀川豊彦と友愛会・総同盟」、常設展解説スライド「日本労働運動の100年余」などのデジタルデータを、Eメールに添付・送信して紹介活動・PR 活動を行っている。

IV その他

- ①2017年10月14日(土)午後、UAゼンセン茨城県支部第6回定期総会に間宮事務局長が出席し、テーマ「日本の労働組合運動ヒストリアー友愛会を中心とする日本労働運動の100年余」の講演を行った。
- ②NPO法人働く文化ネット(総評会館)の労働映画鑑賞会(毎月1回・第二火曜日)に参加、協力した。
- ③愛知県名古屋市、三重県四日市で11月21日～22日に開かれた社会・労働関係資料センター連絡協議会(労働資料協)の2017年度定期総会に、当館の安部千恵が参加した。

以上